

第4部 第3期坂東市まち・ひと・しごと 創生総合戦略

1 策定の趣旨

2 基本的な考え方

3 基本目標

基本目標1 安心して働き、暮らせる生活環境の創生

基本目標2 稼ぐ力を高め、付加価値創出型の
新しい地域経済の創生

基本目標3 本市への人と企業の流れの創生

基本目標4 新技術の積極的な活用

基本目標5 市外の多様な主体との連携

1 策定の趣旨

少子高齢化と東京圏一極集中を是正し、活力ある日本社会を維持するため、平成26年11月に「まち・ひと・しごと創生法」が制定されるとともに、同年12月には同法を踏まえ実際の施策を方向付ける「まち・ひと・しごと創生総合戦略」が策定されました。その後も同戦略は改訂を重ね、令和元年12月には「第2期まち・ひと・しごと創生総合戦略」に、令和4年12月には「デジタル田園都市国家構想総合戦略」となり、令和7年12月には「地方創生2.0※」の考え方に基づいた新たな総合戦略へと変わりました。

本市においても、人口減少により地域の持続可能性が危ぶまれる状況にあるとの認識はもとより、「まち・ひと・しごと創生法」において「国、地方公共団体及び事業者が相互に連携を図りながら協力するよう努めること」と定めがあることも踏まえ、平成28年3月に「坂東市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を、令和4年3月に「第2期坂東市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定し、地方創生に向けた様々な取り組みを推進してきました。

今般、本市の総合戦略が計画期間を満了することや、国が「地方創生2.0」として新たな地方創生の方針を示したことを踏まえ、令和8年度から令和11年度までの4か年にわたる本市の地方創生に関する施策の展開方針や数値指標をまとめた「第3期坂東市まち・ひと・しごと創生総合戦略」を策定します。

2 基本的な考え方

「第3期坂東市まち・ひと・しごと創生総合戦略」は、国が新たな今後10年間の地方創生に関する取組方針として取りまとめた「地方創生2.0」の考え方や、それを具体化した「地方創生2.0基本構想」及び新たな国のまち・ひと・しごと創生総合戦略である「地方創生に関する総合戦略～これまでの地方創生の取組のフォローアップと推進戦略～」を勘案対象とし、そこで目指す姿として示された「強い経済」「豊かな生活環境」「新しい日本・楽しい日本」の3点と、政策の5本柱として示された事項を基本として、国の総合戦略で掲げられた「選ばれる地方」の考え方を含めつつ、社会経済の情勢や地域の実情等の外的要因も踏まえて策定します。また、本市の総合計画「ばんどう未来ビジョン第3期戦略プラン」と一体で策定することとし、計画期間は同一の令和8年度から令和11年度までの4か年とします。

3 基本目標

次の通り、5つの基本目標を設定します。

具体的な取り組み内容に関する基本目標1、2及び3と、それらに横断的に関わる基本目標4及び5について、それぞれ整理します。

	基本目標4 新技術の積極的な活用 ア 最新技術の活用推進 イ マイナンバーカードの更なる普及と利活用の推進 基本目標5 市外の多様な主体との連携 ア 市町村の境界を越えた連携の推進
基本目標1 安心して働き、暮らせる 生活環境の創生	ア 若い世代や女性に選ばれる地域づくり イ 人口減少局面においても持続可能な生活環境の構築 ウ 安全・安心な生活環境の実現
基本目標2 稼ぐ力を高め、 付加価値創出型の 新しい地域経済の創生	ア 地域資源を活用した産業振興 イ 公民連携による地域産業の活性化
基本目標3 本市への人と企業の流れ の創生	ア 関係人口の量的拡大・質的向上 イ 移住・定住の促進

基本目標 1

安心して働き、暮らせる生活環境の創生

若い世代や女性が安心して住み続けることができる地域を目指し、各ライフステージにおける切れ目のない支援や、時代の流れに合わせた意識改革等に取り組みます。

地域人材確保や多様な人々との共生に関する取り組み、災害・犯罪から身を守る安全・安心の取り組み等により、地域住民が住み続けたいと思う地域を作り、地域の持続可能性を確保します。

重要業績評価指標（KPI）

数値目標	現状値	目標値
住み続けたいと思う人の割合	45.7%(R7)	60.0%

ア 若い世代や女性に選ばれる地域づくり

①結婚・妊娠・出産から子育てまで切れ目のない支援体制の強化

結婚・妊娠・出産から子育て・高等教育まで各ライフステージに合わせた適時適切なサービス提供等の支援を行うとともに、子育て支援機能を併せ持つ地域複合施設等のハードウェアも整備するなど、総合的な支援を行うことで本市の魅力を高め、地域に根差す若い世代を増やし、地域の担い手確保と少子化対策に繋がります。

重要業績評価指標（KPI）

数値目標	現状値	目標値
20～44歳女性人口百人当たりの出生数	3.26人(R7)	3.5人
いばらき出会いサポートセンター 入会金助成交付数	—	80件

②魅力的な教育環境の整備

市内学校の教育環境、授業内容、郷土教育、学校給食等を充実させるとともに、設備や施設を改善することにより、未来を担う子どもたち皆が学べる学校教育環境を整備し、若い世代の子育てや教育に対する不安解消と地域の魅力向上を図ります。

重要業績評価指標（KPI）

数値目標	現状値	目標値
学校教育環境の満足度（4点満点）	2.21点(R7)	2.5点以上

③若い世代や女性に受け入れられるための意識改革

生活と仕事の調和(ワーク・ライフ・バランス※)の推進や無意識の思い込み(アンコンシャス・バイアス)の是正に関する取り組みを通じ、若い世代や女性にとって働きやすく住みやすい地域の形成を図ります。

重要業績評価指標（KPI）

数値目標	現状値	目標値
坂東市に住むことを知人・友人に勧めたいと思う人の割合	26.0%(R7)	35.0%

イ 人口減少局面においても持続可能な生活環境の構築

①地域人材の確保

地域の様々な分野で活躍する人材(地域人材)を確保するため、奨学金返還支援による新卒者の定住促進や、社会教育・生涯学習の推進による人材育成等を推進します。

重要業績評価指標（KPI）

数値目標	現状値	目標値
奨学金返還支援補助金申請件数	7件(R6)	60件

②多様な人々が共生する地域の構築

地域における多様性はその活力の源泉であることから、人口が減少する中においても年齢、性別、国籍や民族、健康状態、障がいの有無等にかかわらず多様な人々が活躍できる、秩序ある地域共生社会の構築を目指します。特に、市事業の多言語対応をはじめとした、近年の外国人住民の急増に対応するための取組を推進します。

重要業績評価指標（KPI）

数値目標	現状値	目標値
多言語対応している事業数	8事業(R7)	16事業

③公共交通網の維持・充実による生活必需サービスへのアクセス確保

既存の公共交通網(路線バスや民間タクシー等の民営サービス、コミュニティバスやデマンドタクシー等の公営サービス)の維持・充実に努めるとともに、交通空白の解消に向けたライドシェア等の新たな取組の活用に向けて検討を進め、地方創生の基盤である地域の足を確保し、生活に必要な施設やサービスへの持続可能なアクセス提供を図ります。

重要業績評価指標 (KPI)

数値目標	現状値	目標値
公共交通の満足度 (4点満点)	1.84点 ^(R7)	2.5点以上

④コンパクト・プラス・ネットワーク※の構想に基づくまちづくり

人口減少局面においても、引き続き住みよい生活環境を保持するとともに、インフラの維持管理等の負担が少ない効率的なまちづくりが必要であることから、生活サービス施設等を集約して公共交通により誰もが容易にアクセスでき、サービスを享受できる「コンパクト・プラス・ネットワーク※」のまちの形成を目指し、居住と都市機能の誘導に取り組みます。

重要業績評価指標 (KPI)

数値目標	現状値	目標値
市街地(岩井・辺田・沓掛地区)に居住する方の割合	35.5% ^(R7)	36.7%

⑤地域福祉の推進

少子高齢化が進行する中においても、誰もが住み慣れた地域で健やかに暮らし続けることができる社会の実現を目指し、地域の資源を活用しながら、医療・介護・福祉等の多分野にわたる包括的な支援体制を構築していきます。

重要業績評価指標 (KPI)

数値目標	現状値	目標値
地域福祉の充実の満足度 (4点満点)	2.49点 ^(R7)	3点以上

ウ 安全・安心な生活環境の実現

①防災体制の強化

地域の防災基盤や情報管理体制の構築、市民・企業・関係団体との連携強化等に取り組み、ソフト・ハードを組み合わせた総合的な事前防災の体制を整備するなど、災害に強い地域づくりを進めます。

重要業績評価指標（KPI）

数値目標	現状値	目標値
防災協定締結数	74件 ^(R7)	75件
防災ラジオ普及率	33.9% ^(R7)	35.0%

②防犯・交通安全の推進

誰もが安心して暮らすことができるよう、防犯体制の強化や安全・安心な交通環境の整備に取り組みます。

重要業績評価指標（KPI）

数値目標	現状値	目標値
交通事故発生件数	95件 ^(R6)	75件
市内の刑法犯認知件数	458件 ^(R6)	400件

基本目標 2

稼ぐ力を高め、付加価値創出型の新しい地域経済の創生

農地や農産物、歴史文化、自然環境等の坂東市が有する地域資源※の保全・活用や、公民連携による施設整備をはじめとした多様な主体との連携による「新結合」を通じて、地域経済の活性化と新たな価値の創出・拡大を図ります。

重要業績評価指標（KPI）

数値目標	現状値	目標値
1人当たり市民所得	3,481千円 _(R4)	3,600千円

ア 地域資源※を活用した産業振興

①農業や農産物加工・販売の強化

農業経営の安定化や継承、新規就農者の支援等に取り組むとともに、6次産業化※やブランド化による高付加価値化を推進します。

重要業績評価指標（KPI）

数値目標	現状値	目標値
農業産出額	2,384千万円 _(R5)	2,400千万円

②農業基盤の整備推進

農地の集積・集約化による経営の効率化を促進するとともに、畑地等の生産基盤や営農環境の総合的な整備、湛水防除※機能の強化、情報通信技術を活用した耕作（スマート農業）の普及促進等に取り組めます。

重要業績評価指標（KPI）

数値目標	現状値	目標値
指定野菜※の収穫量	70,130t _(R5)	70,200t

③観光の振興

郷土の英雄たる平将門公にまつわる歴史文化、菅生沼や利根川等の良好な景観を有する自然環境、マラソン大会などのスポーツイベント、商店街の空き店舗や集客施設の利活用、「坂東将門の里」を起点としたサイクルツーリズムや地元産品の流通といった、本市の地域資源※の保全と活用により市外から集客する取り組みを進めるとともに、それらを連携させた取り組みを推進し更なる高付加価値化を図ることで、地域の外から稼ぐ力を強化します。

重要業績評価指標（KPI）

数値目標	現状値	目標値
観光入込客数※	604,000人(R6)	800,000人以上

イ 公民連携による地域産業の活性化

①公設民営の農産物直売所を活用した地元産品の販路拡大

公設民営方式の農産物直売所を有する施設「坂東将門の里」を活用し、地元産品の販路提供により市内の農業等を活性化するとともに、様々な関係者を巻き込んだ施設でのイベント開催等を通じて集客力を向上させ、地産外商を推進します。

重要業績評価指標（KPI）

数値目標	現状値	目標値
農産物直売所の売上額	—	87,610,000円

②坂東PAハイウェイ・オアシスにおける民間活力を生かした施設整備と広域集客

圏央道の坂東PAに併設する坂東PAハイウェイ・オアシス※において、公民連携により物販店や飲食店を含む複合施設を整備するとともに、地元産品や地域の観光情報等を活かした施設運営を民間のノウハウも受けつつ進めることにより、これまでにない「新結合」を組織し、広いエリアから多様な集客を見込める地域経済の拠点として機能させ、市外から稼ぐ力を強化します。

重要業績評価指標（KPI）

数値目標	現状値	目標値
坂東PAハイウェイ・オアシス※ 整備面積比率	7%(R6)	50%

基本目標3

本市への人と企業の流れの創生

関係人口※の量的拡大・質的向上や移住・定住の促進により本市への人の流れを生み出すとともに、企業誘致による地元雇用の確保を進め、それらを定住者の増加に結び付けることにより、地域の担い手となる人材の確保と地域経済の維持・発展を図ります。

重要業績評価指標（KPI）

数値目標	現状値	目標値
人口の社会増減	264人増 ^(R6)	300人増

ア 関係人口の量的拡大・質的向上

①シティプロモーション※の推進

地域の歴史・文化・特色を活かしたまちのブランド力の強化、積極的なプロモーション活動、国の「ふるさと住民登録制度」の活用等を推進し、郷土愛の醸成と関係人口の量的拡大・質的向上を図ります。

重要業績評価指標（KPI）

数値目標	現状値	目標値
市公式SNS※フォロワー数	5,970人 ^(R6)	11,500人

②ふるさと納税の拡大

寄附も地域との関わり方の一つであることを踏まえ、個人や企業に対して寄附・投資等を通じた本市の地方創生の取り組みへの積極的な支援を促すなど、本市への資金の流れの創出・拡大を図ります。

重要業績評価指標（KPI）

数値目標	現状値	目標値
ふるさと応援寄附受入額	150,069千円 ^(R7)	500,000千円

イ 移住・定住の促進

①移住・定住に係る各種助成事業の実施

子育て世代定住促進奨励金や奨学金返還支援補助金等の移住・定住に係る支援制度を充実させること等を通じて、本市へのU・Iターン※を促進します。

重要業績評価指標（KPI）

数値目標	現状値	目標値
移住・定住助成制度の申請件数	51件 ^(R6)	100件

②住宅の確保

住宅に関する支援や低・未利用の市有地等の活用のほか、空き家の利活用についても可能性を探るなど、既存の資源を活用した良好な住環境の整備に取り組みます。

重要業績評価指標（KPI）

数値目標	現状値	目標値
戸建住宅の新規着工件数	181件 ^(R6)	181件

③企業立地促進による地元雇用の確保

新たな工業団地であるフロンティアパーク坂東をはじめとした産業用地への企業立地を推進し地元雇用を確保するとともに、工業団地人材確保移住奨励金等の制度を活用して勤務者に地元定住を促すこと等を通じた職住近接の推進により、移住・定住人口の増加を図ります。

重要業績評価指標（KPI）

数値目標	現状値	目標値
工業団地立地企業の雇用者数	3,754人 ^(R6)	3,900人

基本目標4

新技術の積極的な活用

ア 最新技術の活用推進

①情報技術の活用

急速に進歩している機械学習技術をはじめとした、様々な情報技術に基づいて提供されるソフトウェアやサービス(各種生成AI※、自動書き起こし、オンライン会議等)の活用を推進し、行政サービスの向上と効率化を図ります。

重要業績評価指標（KPI）

数値目標	現状値	目標値
AI※・RPA※を活用している事業数	8事業(R7)	16事業

②行政手続のオンライン化

いつでも、どこからでも行政サービスに関する申請等を行えるよう、各種手続についてオンライン化を進めます。

重要業績評価指標（KPI）

数値目標	現状値	目標値
オンライン申請を受け付けている手続数	26手続(R7)	30手続

イ マイナンバーカードの更なる普及と利活用の推進

①マイナンバーカードの更なる普及促進

地域におけるデジタル化の基盤であるマイナンバーカードについて、健康保険証との一体化や啓発活動等により、更なる普及率向上を図ります。

重要業績評価指標（KPI）

数値目標	現状値	目標値
市のマイナンバーカード交付割合	86.8%(R6)	94%

②マイナンバーカードを活用したサービスの更なる展開

マイナンバーカードによる認証を通じて住民票等の証明書を発行可能なマルチコピー機を市役所にも導入するなど、マイナンバーカードを活用したサービスの向上と事務事業の効率化を図ります。

重要業績評価指標（KPI）

数値目標	現状値	目標値
コンビニ交付利用件数	12,884件 ^(R6)	15,000件

基本目標5

市外の多様な主体との連携

ア 市町村の境界を越えた連携の推進

①広域交通インフラの整備

地下鉄8号線をはじめとする広域交通インフラについて、整備されれば非常に高い交通・生活利便性がもたらされ、地域の活性化に繋がることから、沿線自治体やその上位団体である各都県とも連携しつつ、積極的な整備要望活動を継続していきます。

市域を超えた通勤・通学、日常生活圏を踏まえ、市外の鉄道駅やバス路線への連結等も考慮した公共交通ネットワーク（広域バス網等）の構築について、周辺自治体と連携して取り組みます。

重要業績評価指標（KPI）

数値目標	現状値	目標値
整備要望活動の回数	7回/年 ^(R7年度)	8回/年

②自治体間での水道事業の一体化

茨城県が推進する水道事業の一体化に参画し、県企業局を経営主体とする県内外の自治体との経営統合を進め、本市の水道事業の基盤強化を目指します。

重要業績評価指標（KPI）

数値目標	現状値	目標値
上下水道事業の満足度（4点満点）	2.3点 ^(R7)	2.5点以上

総合計画との対応表

第3期坂東市まち・ひと・しごと創生総合戦略		坂東市総合計画第3期戦略プラン	
基本目標1 安心して働き、暮らせる 生活環境の創生	(ア) 若い世代や女性に 選ばれる地域づくり		1-1-1 結婚支援体制の充実 1-1-2 子育て支援の充実 1-1-3 こどもが活躍できるまちの実現 1-2-1 学校教育環境の充実 1-2-2 時代の変化に即した教育の推進 1-2-3 健やかな心身を育む教育の場の充実
	(イ) 人口減少局面に おいても持続可能な 生活環境の構築		2-1-1 高齢者が安心して暮らせる環境づくり 2-1-2 地域福祉の充実 2-1-3 重層的な支援体制の充実 2-1-4 その人らしく生活できる社会の実現 2-2-1 市民の健康づくり対策の支援 2-2-2 持続可能な社会保障 2-3-1 誰もがやりたいことができるまちの実現 3-2-1 地域公共交通の確保・維持・改善
	(ウ) 安全・安心な生活環境 の実現		3-1-1 災害に強いまちづくりの推進 3-1-2 安全・安心のまちづくりの推進 4-2-3 安心できる消費者情報の確保
基本目標2 稼ぐ力を高め、 付加価値創出型の 新しい地域経済の創生	(ア) 地域資源を活用した 産業振興		1-3-2 スポーツ振興の推進 1-4-1 文化施設運営の充実 1-4-2 史跡・文化財等の保全 3-4-2 豊かな地域資源の保全 4-1-1 農業の担い手の確保・営農支援の充実 4-1-2 未来へつなぐ農業基盤の構築 4-1-3 地元農産物のPR強化 4-2-2 企業の活性化の推進 4-3-2 地域資源等をいかした観光まちづくり の推進
	(イ) 公民連携による 地域産業の活性化		4-3-1 坂東PAハイウェイ・オアシスを 活かした活性化の推進
基本目標3 本市への人と 企業の流れの創生	(ア) 関係人口の量的拡大・ 質的向上		3-5-2 地域の魅力発信（シティプロモーション）
	(イ) 移住・定住の推進		3-3-4 良好な住環境の整備 3-5-1 人口政策の推進 4-2-1 工業団地への早期の企業誘致
基本目標4 新技術の積極的な活用	(ア) 最新技術の活用推進		2-4-1 行政運営の効率化と市民サービスの向上
	(イ) マイナンバーカードの 更なる普及と利活用の推進		
基本目標5 市外の多様な主体 との連携	(ア) 市町村の境界を 越えた連携の推進		3-2-1 地域公共交通の確保・維持・改善